

一般質問 (3)

貧困家庭の子どもの支援を急げ！
泉小跡地を市民のスポーツの場に

大竹 あつ子 (共産)

質問 6人に1人の子どもが貧困と言われる。貧困は学習する環境や意欲を奪い、孤立させ、貧困の連鎖を生む。そうした子どもに向けた学習支援・居場所づくり、食事提供などの支援の拡充が必要だ。見解を求めます。

答弁 国や都の動向に留意し検討を進めます。

質問 夜間保育や子どもの居場所が緊急に必要だ。トワイライストの検討状況は。

答弁 利用者の要望や委託事業者の協議が必要になる。
意見 子どもの貧困は教育の面、保育の面など一つの課にとどまらず、全市的な支援が必要だ。全市的に子

どもを見守る体制の構築を早急に求める。
質問 泉小跡地には市民からボールが使えるグラウンドの設置の要望が多くある。検討状況は。

答弁 将来需要や財政見通しを踏まえて検討していく。

質問 ボールが使えるグラウンドの陳情が2件趣旨採択されている。市民の意見を聴く場を設けるべきだ。

答弁 施設の利便性、市民意見の聴取、財政負担など総合的に判断していく。
意見 市が先に大枠を決めるのではなく、市民の意見を聴くことが先である。スポーツのできるグラウンドの設置を強く求める。

マイナンバー制度始動の今
万全の情報セキュリティ対策を！

納田 さおり (無所属)

情報セキュリティ対策

質問 10月から社会保障・税番号制度が始まるが、情報システムの脆弱性を狙った犯罪が多発している。物理的・人的・技術的な幅広い観点を持った情報セキュリティ対策構築が急務であるが取り組みは。

答弁 西東京市情報セキュリティポリシーを定めて対策を行っている。危機事案発生時には緊急時対応手順に従って対処する。

危機管理室を田無庁舎に

質問 大災害発災時には危機管理部門の迅速な意思決定が重要であり、危機管理室は市長がいる田無庁舎に置くべきだ。保谷庁舎に危

機管理室を残す庁舎統合方針暫定案の見直しを求める。
答弁 市長が災害対策本部設置場所に一刻も早く駆けつけることが重要だ。田無庁舎から防災センターへの移動手段とルートはマニュアルに定められている。
意見 平時に問題がなくても、大災害時には想定を超えた状況が起こる可能性にきちんと向き合うべきだ。

質問 図書館は市民文化の中核

質問 あらゆる世代が利用する中央図書館は利便性の高い場所にあるべきだ。3館合築複合化は交通・面積圧縮から合理性に欠ける。

答弁 今後も地域の情報拠点としての役割を果たす。

生活困窮者の自立のため家計相談
就労準備支援に取り組み！

後藤 ゆう子 (ネット)

質問 4月から生活困窮者自立支援制度が始まったが、相談状況を問う。

答弁 月平均約40人の新規相談を受け付けている。相談内容は、収入・生活費に関する事、仕事探し・就職に関する事、病気・健康・障害に関する事、住居確保、給付金に関する事などである。

意見 相談者に応えるためにも、任意事業である「家計相談」と「就労準備支

援」を市の事業として正式に位置づけよ。また、現在行っているひきこもり・ニート対策の居場所利用の対象年齢は29歳までだが、相談については39歳まで受け付けよ。

質問 学校給食における市内産農産物の利用状況を問う。

答弁 40品種以上の市内農産物を利用している。また、平成26年度実績では、青果購入金額の約11%が市内産農産物である。
意見 積極的に利用していることは評価するが、学校によつて利用状況に差がある。差をなくすよう生産者、栄養士などと協議し仕組みを改善せよ。



生活サポート相談窓口 (保谷庁舎)

◇消費者行政について

傷ついたり子どもの権利救済を
いじめ防止条例に規定せよ

かとう 涼子 (ネット)

質問 ひばりが丘公民館の分室化には反対だ。この動きが他館に及ぶことも危惧している。公民館が地域で果たしてきた役割をどう評価しているのか。

答弁 最も身近な学習拠点であり教育機関、交流の場だ。分室化しても変わらぬ活動の場を提供できるように努める。

質問 介護者(ケアラー)への早期支援ツールとして、母子手帳の介護版「ケアラ

ー手帳」を配布せよ。
答弁 家族介護者の負担軽減に努め、支援のあり方についても調査研究する。

質問 市民会館・中央図書館・田無公民館の合築に、基本プラン懇談会委員から

も異論が出ている。市長はどう受けとめているのか。
答弁 担当から報告を受け承知している。
意見 本質的な議論の場が外されているのは大問題。市民合意は不可欠だ。

ふるさと納税受付開始！
本町小・保谷中で小中一貫校を！

たきしま 喜重 (みらい)

質問 強く要望してきた、ふるさと納税の受け付け窓口の設置について、市ホームページへ案内を掲載いただいたことをうれしく思う。ふるさと納税による市税減収への今後の取り組みは。

答弁 庁内関係部署による検討組織を立ち上げ、案内をホームページに掲載した。返礼品については、今後そのあり方を改めてふさわしい制度を検討していく。

意見 市内商工農業者との連携支援は大事だ。市内特産品、一店逸品事業、市内産野菜を使ったためぐみちゃんメニューの提供等、食事券の発行、ふるさと納税の返礼品としての商品券事業

の継続なども取り入れてほしい。
質問 小中一貫教育、小中一貫校に期待する声が多い。物的に隣接するのは本町小と保谷中しかないが、実現に向けての見解は。

答弁 年度内に中間報告がまとまる。市の地域特性を踏まえて検討を進める。
その他質問等

◇西武柳沢駅北口3・4・18号線の進捗状況について



西東京市の特産品の1つである「保谷梨」

◇商店街、商工業事業者と連携した防犯カメラの設置について
◇私立小中学校へ通う家庭への補助について
◇庁舎統合と合築複合化について

議会への情報提供を適切に行い
市民のための議論と合意形成を！

山崎 英昭 (みらい)

市長の政治姿勢を問う！

質問 行政運営と議会、市民への情報提供のあり方に疑問がある。

答弁 適時適切な情報提供を行い、議論を進める。
質問 庁舎統合について、20万市民の合意を得られたとどのように判断するのか。

答弁 全市民的議論の中で総合的に判断する。
意見 庁舎統合の10年先延ばしは公約違反だ。

質問 3館合築を拙速に進めず、多様な市民の声を反映させる努力をせよ。
答弁 素案作成段階で市民

説明会やパブリックコメントを実施する。
意見 現在の案では田無駅南部地域に市民・文化活動の拠点がなくなってしまう。危険な踏切を拡幅せよ！

質問 ひばりが丘駅西側と田無駅東側の踏切拡幅を。
答弁 ひばりが丘駅西側と田無駅東側の踏切拡幅を。道事業者に要望する。
質問 ひばりが丘駅北口地域へ保育園を設置せよ。

答弁 地域型保育事業の設置を検討している。
質問 待機児解消へ幼稚園の預かり保育も充実させよ。

答弁 3歳児の受け皿として預かり保育の充実が必要である。